

54歳男性 示指～小指の完全切断

ローラーで挟まれて受傷し、同日救急搬送された。

【既往歴】 なし

【喫煙歴】 なし

左手をローラーに巻き込まれ、
示指から小指の完全切断を認めた。

病院の体制

形成外科専門医	2人	(卒後20年と卒後8年)
若手形成外科医	1人	(卒後4年)

54歳男性 示指～小指の完全切断



中指と環指は挫滅が強く、再接着不能と判断した。
示指と小指に対する再接着術を予定した。

再接着術施行

切断された示指を環指に
小指は小指に再接着した。

環指：橈側固有指動脈吻合
尺側固有指神経縫合
背側皮静脈2本吻合

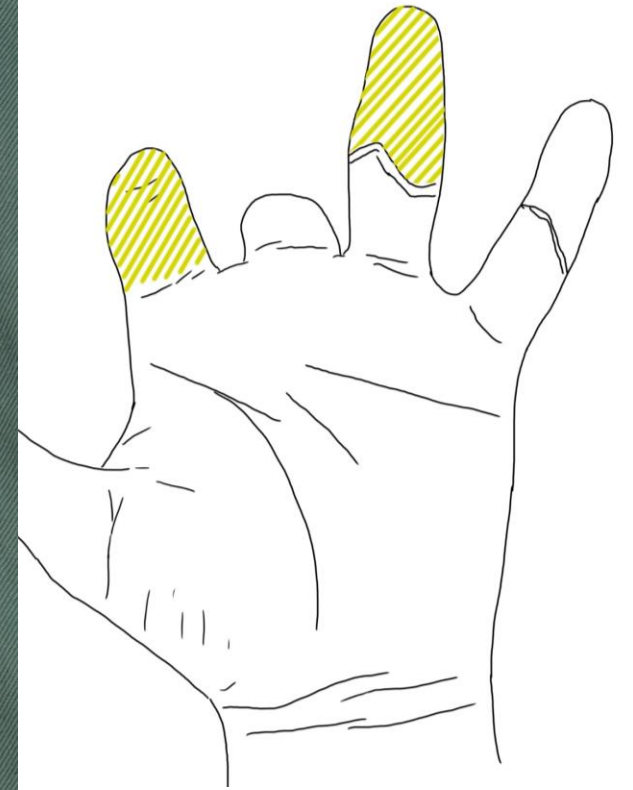
小指：橈側固有指動脈吻合
橈側指神経縫合
背側皮静脈1本
掌側皮静脈1本吻合



術後1ヶ月

環指小指は生着した。
しかし、

示指基節部以遠と
環指再接着以遠に
異常知覚が
出現した。



黄色斜線：異常知覚範囲

リハビリを通院し、感覚練習、関節可動域訓練を行った。
痛みに対しては**ミロガバリン**の内服を行った。

術後6ヵ月経過しても、弱い刺激でも避ける傾向にあり、職場復帰できなかった。

相談項目

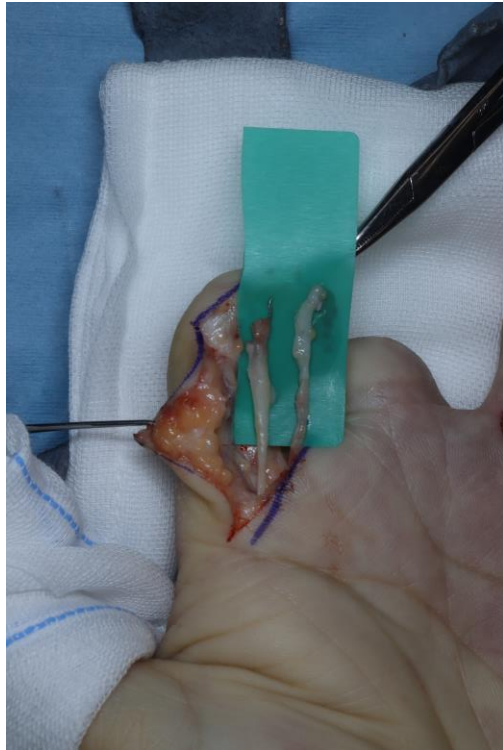
- 再接着をした指は環指と小指でよかったか。
- 異常知覚に対する、外科的介入は有用か。
そのほか内服薬などの追加は必要か。

ここで相談役の先生方とのディスカッションを行います。

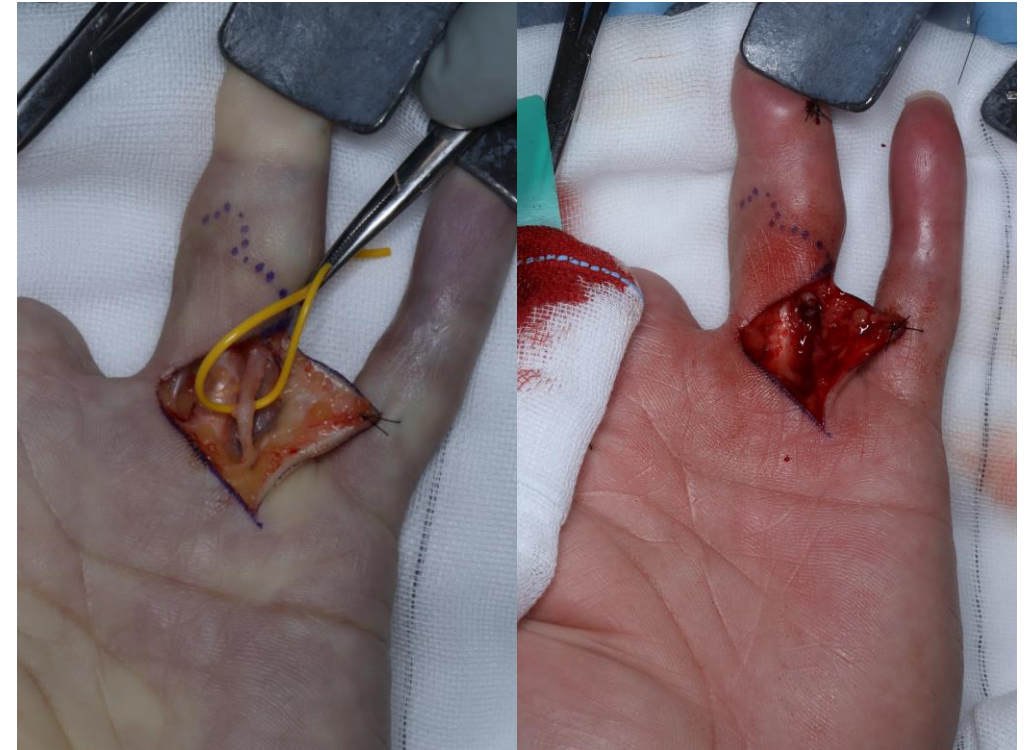
その後に、実際はどのような治療をしたのか報告していただきます。
まだ未治療であれば不要です。

治療の経過

示指の神経断端を手掌指節間皮線のレベルで切除した。
環指は縫合した神経の中樞を約5mmのgapを作って切除した。



示指：神経切除



環指：縫合した尺側固有指神経の切除

治療の経過

術後1年経過し、示指の異常知覚は改善したが環指の異常知覚は残存している。